

平成30年7月豪雨災害から復興への記録

～被災からの歩み～



令和2年10月

倉敷市

巻頭に寄せて

平成 30 年 7 月 5 日から降り続いた雨は、私たち倉敷市民にとって経験したことのない大災害となりました。この災害により、73 人（災害関連死 21 人を含む：令和 2 年 9 月 1 日現在）の方々がお亡くなりになられ、5,970 棟以上の住家が床上浸水以上の被害を受けるという、本市始まって以来の甚大な被害が生じました。

この未曾有の大災害により、お亡くなりになりました方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。



災害発生直後から、自衛隊、消防、警察、住民、ボランティアをはじめとする方々が、多くの人命を救助してくださいました。また、国、県、他自治体、支援団体、企業の皆様、ボランティアの皆様が、猛暑の中にもかかわらず全国から駆け付けていただき、被災した堤防の復旧、災害廃棄物の処理、避難所の運営、被災した住宅の片付けなど、様々な作業に携わっていただきました。そして国内外から多くの支援物資や温かいご厚志を賜るなど、たくさんのお気持ちをお寄せいただきました。これらのご支援や励ましの一つひとつが、災害対応やその後の復旧・復興を支える大きな力となりました。ここに、改めて厚くお礼を申し上げます。

被災から 2 年が経過した現在も、全市一丸となって復興に向けて全力で取り組んでいるところであります。平成 31 年 3 月に真備地区復興計画を策定し、国、県とも連携しながら様々な復旧・復興の事業を実施しています。河川の安全対策についても決壊箇所の復旧は完了し、さらに堤防の強化も実施しています。高梁川と小田川の合流点の付替え事業も令和 5 年度の完成に向け施工中です。また、住民による「地区防災計画」の策定や防災教育の推進、地域による避難行動要支援者の避難対策などを検討する「倉敷市災害に強い地域をつくる検討会」を開催し、災害に強い倉敷市を目指して、多くの方々のご支援・ご協力をいただきながら、復興に取り組んでおります。

復興への道のりは決して平坦なものではなく、まだまだ時間がかかっていくとは思いますが、被災された皆様が一日も早く元の日常を取り戻していただけるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。そして、災害の経験や教訓を風化させることなく後世に語り継ぐことが私たちの責務と考え、「豪雨災害から復興への記録」という形で発刊させていただきました。

令和元年、そして本年も令和 2 年 7 月豪雨災害が発生するなど全国で甚大な被害が発生しており、また、今後、南海トラフ地震などの大規模災害の発生も懸念されています。本誌が、皆様にとりまして災害に強い地域づくりを推し進める一助となればと存じております。

最後に、本誌発刊にあたりご協力いただきました方々に感謝申し上げますとともに、発災から現在までに全国の皆様から賜りました温かいご支援に重ねて感謝申し上げ、発刊のご挨拶とさせていただきます。

令和 2 年 10 月

倉敷市長 伊 東 香 織

目 次

巻頭に寄せて	1
--------	---

第1章 災害の概要

1 気象概況	6
2 倉敷市における雨量	8
3 避難情報の発令	9
4 発災からの経過	12

第2章 被災状況

1 堤防の決壊状況	30
2 浸水の状況	36
3 土砂災害	47
4 過去の浸水	50

第3章 市対策本部の取り組み

1 市災害対策本部	54
2 市災害対策本部の対応	56
3 救助・応急復旧活動	71
〔 自衛隊 国土交通省緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE) 消防 消防団 岡山県警察 住民等による活動 〕	

第4章 被害状況

1 人的被害・住家被害	84
2 農林水産関係	84
3 商工関係	86
4 公共土木	86
5 教育施設	89
6 医療・福祉施設	90
7 文化・スポーツ施設	97
8 下水道施設	98
9 上水道施設	100
10 ライフライン	104
11 倉敷市真備支所	106
12 公文書	110

第5章 被災者支援の取り組み

1	避難所	1 1 4
2	物資の提供等と生活支援	1 2 5
3	支援情報の発信	1 3 0
4	保健・医療の活動	1 3 1
5	住宅再建への支援	1 3 7
6	災害廃棄物への対応	1 5 3
7	子育て世帯への支援	1 6 3
8	児童・生徒への支援	1 6 6
9	高齢者・障がい者への支援	1 7 1
10	見守り・相談支援等事業	1 7 5
11	被災農業者への支援	1 7 9
12	被災中小企業への支援	1 8 6
13	被災者・被災企業への制度的支援	1 8 8
14	追悼式	1 9 6

第6章 全国からの支援

1	ボランティア	2 0 0
2	他自治体からの災害派遣	2 0 6
3	日本赤十字社の活動	2 0 9
4	義援金・支援金	2 1 1

第7章 復興に向けて

1	復興に向けた市組織体制	2 1 4
2	真備地区復興計画	2 1 4
3	まちを守る治水対策 等	2 1 8

参考資料

災害復旧・復興経費	2 3 6
新聞記事	2 5 6

あとがき	3 0 2
------	-------

発刊にあたり

本誌は、平成 30 年 7 月豪雨での大規模災害の実態や、救助・応急復旧活動の状況、被災者支援、復興への取り組みなど、被災状況や災害対応等を風化させることなく次代に伝えていくとともに、万が一の災害に備え、今後の防災・減災対策に生かされるよう、発災後 2 年の記録を編集したものです。

凡 例

- ☐ 市は倉敷市、市長は倉敷市長、県は岡山県の略としています。
- ☐ 年号表記のない年月日は、特記しない限り「平成 30 年」のものです。
- ☐ 役職者及び施設名は、当時の役職名・施設名のものを使用しています。
- ☐ 時刻は、24 時制で表記しています。
- ☐ 記録誌の全部又は一部について、無断での複製・転載・改編は禁止します。